

# 会 議 結 果

会議名 (審議会等)	令和4年度高砂市子ども・子育て・若者会議 第1回子ども・子育て部会
開催日時	令和4年9月6日(火) 18:30~20:30
場所	高砂市役所 分庁舎1階大会議室1
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴者定員数: 3人) (傍聴者数: 0人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規定に該当するため。等)
事務局 (担当課)	健康こども部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議題	(1) 高砂市子どもの生活に関するアンケート調査について (2) 公立就学前教育・保育施設の今後の在り方について (3) その他
出席委員	委員13名(欠席1名)
結 果 (議事録又は議事概要)	
発言者	内 容
事務局	<p>みなさんこんばんは。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。また、台風が少し心配でしたが、なんとかそれまして無事開催することができました。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議資料の確認をお願いいたします。資料一覧表に記載している配布資料について、お手元にない場合は事務局までお申し付けください。</p>
事務局	<p>1 開 会</p> <p>それでは定刻となりましたので、これより第1回子ども・子育て部会を開催いたします。開会に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして、公開とさせていただいております。また、本日の傍聴者はございません。</p> <p>それでは会議に入る前に、本日は委員14名のうち、13名に出席いただいております。出席者が過半数となりましたので、高砂市子ども・子育て・若者会議条例第6条第2項により、会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>これより会議の進行は部会長をお願いいたします。</p> <p>部会長、よろしくお願いいたします</p>
部会長	2 議題

	<p>みなさんこんばんは。台風の中お集まりいただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。議題の(1)高砂市子どもの生活に関するアンケート調査について、概要とスケジュールについて事務局より説明をお願いします。</p> <p>(1) 高砂市子どもの生活に関するアンケート調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要とスケジュールについて</li> </ul> <p><b>【事務局より資料①、②に基づいて説明】</b></p>
事務局	<p>事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>調査項目については、高砂市独自で新型コロナウイルス感染症やヤングケアラーについて盛り込まれているということです。</p> <p>よろしいでしょうか。続きまして、調査票【子ども用・保護者用】と配布手順について、事務局より説明をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査票【子ども用・保護者用】と配布手順について</li> </ul> <p><b>【事務局より資料③～⑥に基づいて説明】</b></p>
部会長	<p>事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
事務局	<p>学校の先生方にも配布物・配布手順の説明に行き、説明書もあるのは丁寧だと思いましたが、囲みの中の上から4行目に施設入所の場合の説明があり、丁寧に書いておられると思ったのですが、里親家庭で育った子ども、ファミリーホームで生活している子どもについても何か説明があった方が良いのではないかと気がしました。里親の方は、自分のことを保護者として答えて良いのか、生物学上の親について書いた方が良いのか、と学校に質問があった場合どうするのかと思いました。その点について、お考えを聞かせていただければと思います。</p>
委員	<p>ご意見ありがとうございます。配布手順には、子どもへの説明として伝えていただけるよう記載しているのですが、実際は施設入所や里親であるということは、とてもデリケートなことになりますので、子どもたち全員の前で先生が説明するのはハードルが高いのではと思っているところです。アンケートの説明で学校にうかがうときに、配慮いただけるようお願いをしたいと考えています。</p> <p>また、里親という視点が抜けていましたので、特に保護者用の調査票では、問1で施設職員の方への注釈を入れていきますので、こちらに里親の項目を追加するなど配慮ができれば良いのではないかと考えました。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。配布手順には、子どもへの説明として伝えていただけるよう記載しているのですが、実際は施設入所や里親であるということは、とてもデリケートなことになりますので、子どもたち全員の前で先生が説明するのはハードルが高いのではと思っているところです。アンケートの説明で学校にうかがうときに、配慮いただけるようお願いをしたいと考えています。</p> <p>また、里親という視点が抜けていましたので、特に保護者用の調査票では、問1で施設職員の方への注釈を入れていきますので、こちらに里親の項目を追加するなど配慮ができれば良いのではないかと考えました。</p>

<p>部会長</p>	<p>質問の対象について、文面を工夫するということと、先生方をお願いをするということをお願いいたします。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>子ども用の問3、「放課後（平日の授業終了後）」「週1回以上」となっていますが、子ども食堂は現在月に1回のペースで行っており、同じ小学校区内で週1回利用するということではできません。土日または金曜日の夜にやっているところが2箇所というのが現状ですので、地域の居場所という項目は必要だと思いますが、「子ども食堂など」に対する回答はゼロになるかと思うので、子ども食堂以外の地域の居場所を例にあげた方が良いのではないのかと思いました。</p> <p>問2「4. ひとりで過ごしているとき」、また問3「8. 自宅でひとりで過ごしている」という項目について、物理的にはひとりだけど、ネット上の友だちなどと過ごしていることもすごく多い。その場で出会った人とチームを組んでゲームをすることが多く、その場では仲良くなっているということがあります。ひとりで過ごしているけど、ひとりじゃないと子どもが感じるのではないかというのが少し心配でした。ネットというものも加味した方が良いのではないのかと思いました。</p>
<p>部会長</p>	<p>事務局はよろしいでしょうか。</p>
<p>部会長</p>	<p>設問の内容や言葉について、もう一度検討したいと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>小学校では、子どもが困っている状況や困っている子どもに対する対応はどのようなになっているのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>困っているというのは具体的にはどのようなことでしょうか。</p>
<p>部会長</p>	<p>質問に関連するようなことで、こういった傾向の子どもさんが多いですか、小学校で特に問題となっていることなどはありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>学校が一番子どもと接する場所で、子どもと保護者の最前線の場所ですので、それだけの緊張感を持って対応をしますし、一人ひとりの教師の気付きが非常に大事だと思っています。これは、小学校に限らず、園や中学校、高校も同じかと思っています。</p> <p>先ほど委員が言われた問2について、物理的にはひとりでもネット上でいろんな人とつながっているから、ひとりでいても楽しいと感じている子どもはか</p>

	<p>なりの数いると思います。問い方と、聞くことによってどう施策に反映するのかについては、ねらいを持っておられると思いますので、文言については精査していく必要があるかと思います。</p> <p>また、問3「自宅でひとりで過ごしている」についても、ネット上で誰かと過ごしているのか、物理的にひとりであることなのか、捉え方として、子どもには判断しにくく、数値的に正しい結果が得られるのかということもあるかと思います。</p> <p>問12については、子どもたちに持っているもの、持っていなければ欲しいと思うかを問う質問となっていますが、どのように子どもの生活実態を把握し、施策に反映させていくのか、というのが気になりました。国のアンケート項目には無い項目なので、興味のあるところではあります。</p> <p>また、ヤングケアラーについての設問を入れていただけたのは、学校現場においても非常に大事なところですし、新型コロナウイルスによる変化についても今後の市の施策に反映できるところかと思しますので良いところだと思います。</p>
部会長	事務局から説明はありますでしょうか。問2、問3でのネット上での関わりを含めた問い方、問12の分析方法など説明があればお願いしたいと思います。
事務局	<p>子どもさんが自宅でひとりで過ごしているけれど、実はネット上の友だちなどつながっているということは、調査票をつくる上では考えに無いところでした。ご意見ありがとうございます。聞き方については、正しい数値が出るよう精査したいと思います。</p> <p>また、問12については、この調査の一番大きな目標である貧困対策に基づき設定をしています。保護者調査と紐づけし、家庭の所得と組合せて分析することがこの調査では一番重要となります。可処分所得により、子どもが欲しいのに持っていないということがありましたら、低所得者の所得への反映などに活かしていきたいと考えています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、各種施策もごございますが、実際に子どもさんへどういった影響を与えているか、生活習慣への変化を把握し、施策に反映していきたいと考えています。</p>
部会長	委員いかがでしょうか。
委員	分かりました。
部会長	いかがでしょうか。調査票のわかりにくい点や感想でも結構です。

委員	<p>先ほどの質問を聞いて勉強させていただきました。自分の子どもも5年生なので、調査の結果がどのように出るのか、高砂市にどのような子どもたちがいるのか結果が知りたいのと、また、そこからどのように発展していくのが課題となっていくと思うので、出た結果を課題としてあげていければよいと思いました。全体としては大丈夫かと思えます。</p>
委員	<p>子ども用の問13、保護者用でしたら問11ですが、「など」が入っていないので、子どもだったら素直に「動物園・水族館」と書いていたら、植物館は行ったことあるけど○をつけないとか、映画館は行ったことがあるけどコンサートは行ったことがない、図鑑で調べたことはあるけど辞書で調べたことはないなど、似たようなものも含めて子どもが考えられるのではないかと思います。また、「地域のお祭りや行事」などももう少し詳しく書くのはどうかと思いました。こちらが変われば保護者用も変えることになるのかと思います。</p> <p>もう一点は、保護者用の問4で、婚姻状況をたずねるのであれば、「別居」が入っているのはおかしいのではないのでしょうか。もし別居を入れておきたいのであれば、「婚姻状況など」という書き方になるのではないかと思います。</p>
部会長	<p>今のご質問について、事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。文化的な経験に関する質問については、表現方法等、答えやすい表現や追加できるものをもう少し検討したいと思います。</p> <p>また、保護者票の婚姻状況に関しても、適切な言葉がないか検討したいと思います。</p>
委員	<p>この子ども用調査票は、小学生以上向けでしょうか。</p>
事務局	<p>小学校5年生全員と、中学校2年生全員を対象にしています。</p>
委員	<p>こども園なのでアンケートとは関係ないのですが、収入があっても服を買ってもらえていなくてボロボロのものを着ているとか、ネグレクトや虐待傾向のある家庭もあって、それはこども園だけでなく引き続きあるのではないかと思います。このアンケートでは、衣食住のことにに関して、衣服のことがあまりないのではないかと思います。子ども票問12で持っているもの、持っていないものを聞いていますが、衣服に関する設問があっても良いのではと思いました。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、衣服に関する質問は入っていないと思います。可処分所得があることと、子どもが持っている、持っていないということの関連は関心のあるところだと思います。衣服に関する質問について、入れられるかどうか検討したいと思います。</p>

	す。
委員	保護者票の問 23、年収などと連動させて、家の事情等もあると思うので、結果を楽しみにしております。
部会長	ありがとうございます。
委員	子ども食堂をしている中で、先ほど衣食住の話が出たので参考までにお話させていただきます。私が子どもを見るときに、歯磨きをしているかどうか、服装などを見ますが、特に靴を見ます。靴がかなりすり減っている状態でまだはいている子どもがいます。あと、髪の毛を家で切っていて右と左がそろっていないというような子どもをたまに見かけるので、そういうところを設問に入れられれば、何か気づくところがあるのではないかと思います。例えば髪の毛をどこで切っているかと聞いて、親に切ってもらっているとか、そういった質問が一つあれば良いのではないかと思います。
事務局	ご提案ありがとうございます。服装や靴、髪の毛についても、貧困の調査ですので影響を与えている部分だと考えています。その他の設問について、ボリュームが多い調査票となっているため、どこまで入れられるかも含め内容を精査したいと思います。
部会長	現場ではより具体的なことが見えてくるとと思いますので、またご検討お願いいたします。他によろしいでしょうか。 それでは、続きまして、調査票【関係機関・団体用】について事務局より説明をお願いします。
事務局	・調査票【関係機関・団体用】について 【事務局より資料⑦に基づいて説明】
部会長	事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。
委員	6 ページ、(8) でヤングケアラーと思われる子どもの実態を把握していますか、とありますが、過去に把握していたが、その後関係機関と連携して、すでに支援につなげている場合もあるのではないかと思います。過去に把握していたという選択肢も必要ではないかと思いました。その時の状況はどうだったのか、について (9) で聞くということも検討していただければと思います。

部会長	<p>現在の実態と、過去に把握していたかどうかも大事だと思いますので、そこを反映できるよう検討していただければと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>この調査票で、現場の人がどのくらい把握しているのかは知りたいと思います。</p>
部会長	<p>実際にヤングケアラーと思われる子どもというのは、各施設等においても実態は見てこない状況でしょうか。あるいは見えている部分はあるのでしょうか。</p>
委員	<p>子ども食堂をやっている中で、この子ヤングケアラーかなと、感じる子どもはいるのですが、本当にその子がヤングケアラーであるのかというところは、親は家事を手伝ってもらっている中で、子どももそう感じているのであれば、それはヤングケアラーではないし、家事等を手伝っている子どもがいても線引きがすごく難しいと感じています。そこをどのように判断するのが難しいところだと思います。</p>
部会長	<p>ヤングケアラーの位置づけとして、調査で様々な質問をして探っていくわけですが、お手伝いの度合いの捉え方の視点というのはどのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>ヤングケアラーについては本当に線引きが難しく、周りが気になっていても本人や家族がどう思っているか分からないため、とても難しい問題だと感じています。今回、子ども票にもヤングケアラーかどうかを調査する設問を3問ほど入れていますが、より実態に近い調査にできるよう、良い設問項目や適切な言葉を検討しているところです。</p>
部会長	<p>ヤングケアラーについては、高砂市独自の設問項目となっているのでしょうか。</p>
部会長	<p>ヤングケアラーにつきましては、最近、報道やテレビ等でも出るようになってきた言葉だと思います。国・県では相談や周知を行っているところですが、高砂市では、ヤングケアラーについて、どういうものかということをお各事業者や保護者、また子どもたちにもまず知ってもらいたい良い機会でもあるということで、設問を入れたという目的もございまして、認識してもらって、支援につなげていくということで、実態も含めどのくらい見えてくるのかということをお我々も含めて確認したいという中での試みですので、実際に支援をしていく、また支援をしても</p>

	<p>らえる事業者も含めて一緒にヤングケアラーへの支援の方法を考えていきたいということ、今回のアンケート調査の実施となっています。結果も見つけていけるように考えているところです。</p>
委員	<p>ヤングケアラーについては、言葉の概念や理解度はそれぞれの団体によって認識が違うので、言葉が先行しているのではないかと感じました。子ども票の間 15 にある言葉が分かり良いのではないかと思います。本人に損なことがあるということがヤングケアラーの問題だと思いますので、言葉の認知度を聞く場合は、説明は入れない方が良いかと思いますが、実態を把握する場合は、どこまで当てはまるのか悩むこともあると思うので、この質問に関しては精度が難しいと思いました。</p>
事務局	<p>子ども調査票の間 15 で生活にどのような影響が出ているかというところでヤングケアラーについては把握したいと考えています。お手伝いをしている子どもというのはたくさんいると思います。そこでヤングケアラーかどうかとなると、先ほど言っていたように、どれだけ不都合なことが生じているか、学校に行けなかったり、睡眠時間が少なかったりということが合わさったらヤングケアラーであると判断していれば考えているところです。先ほどの団体調査（9）については、ヤングケアラーと思われる子どもの状況ということで、10 項目ありますが、もう 1 つの視点として、子どもが不都合や悩みを抱えているかということについては、説明を追加した方がより実態を把握できると思いますので、追加・修正させていただければと考えています。</p>
委員	<p>教えていただきたいのですが、2 ページで、これは貧困の問題を抱えていると思われる家庭にどのような特徴があるかということで、「8. 家事や介護を担っている」とあるのですが、介護は分かるのですが、家事はみんなされているのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ご質問ありがとうございます。貧困の問題を抱えているということはどういった背景や特徴が見られるかという中で、例えばひとり親家庭であったり、DV 体験があるということに加えて、家事や介護についても入れております。障がいのある方や高齢者の方への介護があることによって貧困に結びついていることもあるのではないかとということで入れさせていただいています。また、回答については、子どもに関連する 100 程の団体にお聞きし、結果を市の施策につなげていきたいと考えております。</p>
委員	<p>これは、貧困の問題を抱えている家庭を把握する設問で、「家事」というのが、今の説明ではよくわからなかったのですが。</p>

事務局	家事については、ヤングケアラーとの関連性について考える中で入れていることとなります。
委員	ヤングケアラーに関しては、学校が果たす役割は非常に大きいと改めて思いました。その中で、(1) について、これまでの経験では、学校現場では、弟・妹の面倒を見なければいけないということが多いと思います。学校の欠席が多い、遅刻が多い、そして寝ているなど、どうしてかということで、普通先生はそこからスタートします。子どもに聞いたり、家庭状況などを把握し、入り込むことは非常に難しいのですが、状況を捉えていく中でケアラーではないかという、学校の気付きは大事だと思います。もし問うなら「兄弟姉妹の面倒を見なければいけない」という項目をいれてはどうかと思いました。また、結果もふまえてになるとと思いますが、虐待については学校でもだいぶ浸透してきたところですが、ケアラーについてはスタートしたところですので、学校現場という事業者に対して、教職員等への研修はぜひ市の方でお願いしたいと思います。管理職だけでは対応できないところがありますので、最前線におられる先生からの報告を受けてどこにつながるかを考えます。実際に本市であった中で、高砂市の対応は早く、解消に向かったのですが、その気づきというのが非常に大事になると思います。
委員	今のご発言を聞いて分かりました。子どもが「家事や介護を担っている」ということだと思いますので、(1) 「子どもが」の主語を入れてはどうでしょうか。
部会長	保護者など主語があいまいになっていますので、ご確認をお願いいたします。また、学校から兄弟の面倒を見ているお子さんが多く、負担になっているということですので、ご検討をお願いいたします。 他にいかがでしょうか。 それでは引き続き議題を進めてまいります。議題(2) 公立就学前教育・保育施設の今後の在り方について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(2) 公立就学前教育・保育施設の今後の在り方について 【事務局より資料⑧に基づいて説明】
部会長	事務局からの説明が終わりました。ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。
委員	5 ページ、今後の地域の児童数というのはどういった算出をされたのでしょうか。2 ページの荒井地区で、10 年間で 250 人減少となっていることをふまえ

	<p>て算出したのか、それとも別の要因により算出したのか教えていただけますか。</p>
事務局	<p>こちらについては、今までの児童数の減少も含め、今後の児童数の予測の中から考えていきたいと思っておりますが、実際に年々子どもの数が減ってきていますので、状況を見ながら時期等を見極めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>2ページの10年間で250人減少したということについて、要因の一つとして、私どもの会社の社宅をいっきに閉めたということもあり、それも要因としてあるのではないかと考え、一時的な要因で今後の数を推測されているのであれば、そこは見込みとしてはどうかと思いますので、実態もふまえて見極めていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今後の状況を見ながら考えていきたいと思っております。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>説明を聞いて、理解しているつもりですが、今の荒井地区の状況と3歳児教育を始めたところで、今の話を聞きますと、3歳児教育を始めるが、公立はなくなるということですが、そのあたりが、今後のことを考える余地があるのか、今の状況ですと、高砂も残して荒井も残していただければというのが私の意見なのですが、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>4ページの7番に書かせていただいているのですが、市内の全域を5つの地域に区分し、それぞれの地域に1公立施設となるように、施設の方向性を検討するものとしております。南部地域については、高砂地区の民間園は定員が少ないということもふまえると、高砂こども園を残す方が良いのではと考えているところです。</p>
委員	<p>その方針は認識しているのですが、もっと後のことになるのか、すぐのことなのでしょうか。</p>
事務局	<p>公立就学前施設の今後の在り方につきましては、今現在のことでなく、今後を見据えて在り方を検討する時期に来ているということで、整理をしたということでございます。基本的には、4ページにもございます、6番で公立施設全体最適化計画という市の大きな公共施設の考え方の計画があり、この中で将来的に、少子化、人口減少とあわせて、今ある施設を建て替える必要はあるのか、または今後統廃合していくのか、ということ整理する時期</p>

	<p>に来ています。そこを整理する中で、全国的に待機児童が過去最少ということもあり、人口が多いところでは待機児童が残っていますが、やはり多くの市町村では人口減少がはじまり、施設が余ってくるということがあります。本市においても大きな公共施設の最適化計画の中で、就学前の子どもたちが利用する教育・保育は、公立と民間のみなさんとやってきているわけですが、今後人数が減ってきた場合に、急に施設をどうするかということができませんので、まずは公立について、老朽化してきているところや民間の新しい施設もありますので、整理をする中で、全体を5地区に割って、そこにそれぞれの子育ての公立の基幹施設を置くということで在り方について方針を立てております。そういった中で、南部地区については、現在高砂こども園と荒井幼稚園があり、荒井地区については認定こども園化は行われておりませんが、将来的には認定こども園化をする方向で考えております。ただし、いずれかは高砂地区を残すのか、荒井地区の園を残すのかという整理をしなければならない中で、先ほど説明があった通り、高砂地区では民間園が少なく、荒井地区では民間園が充実しているということで、高砂地区で公立園として残し、荒井地区では将来的には民間園の中で就学前の施設を担っていただくという方向性を立てているところです。現在高砂市では就園率は非常に高く、ギリギリでやっているのに整理をするのかということになると思いますが、これは今の就園率だけでなく、5年、10年、20年後を見据えて将来的な公立施設の方針をまとめたものになりますので、先ほどありましたように一時的な児童数の減少だけでは難しいですが、将来的な児童数の推計を見ながら、4ページで2026年に再検討を行うとなっており、児童数も変わっていると思いますので、そこで再検討を行いながら、方針等の変更があるかもしれませんが、現在ではこのような方針を立てているということです。</p>
<p>部会長</p>	<p>今後傾向を見ながら検討していくということになります。ありがとうございました。</p> <p>議題（3）その他になりますが、事務局から何かありますでしょうか。</p> <p>（3）その他</p> <p>【特になし】</p>
<p>委員</p>	<p>次に行く前にお願いしたいことがあり、就学前の施設に子どもたちがたくさん通うようになってきたと思います。今後も親御さんが共働きとか、0歳、1歳、2歳の施設が増えてくれば預ける人も増えると思うのですが、現在就学前施設に通う子どもたちについて集まる場というのがない。民間と公立の連携が上手くできているのかと思いました。保育園、幼稚園、小学校、中学校と行くと思うのですが、教育委員会が主管で学校保健会というのがあるのですが、幼稚園と小学校、中学校が入っており、高砂市では荒井幼稚園だけです。就学前施設と</p>

	<p>小・中の連携をしていく、就学前施設の民間と公立の連携をしていく組織を市としてつくっていく時代に来ているのではないかと思います。学校保健会に入っていくという案もあったのですが、そこだと1歳～15歳とかなり幅が広く、いろんなことを相談するにも年齢層がバラバラでまとまりにくいということを感じていますので、ぜひとも就学前の子どもたちのことをみんなで相談するような組織のようなものができたら良いと思っています。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今言っていただきましたことがまさに現在の就学前施設の課題にもなっております。確かに幼稚園は教育委員会の所管であり、小学校との連携がスムーズに行われているということです。高砂市の場合は、認定こども園化が進むにあたり、各地域での課題となっています。公立と民間、幼保小の連携ということで、幼児教育アドバイザーが様々な幼児教育についてのフォローアップや各施設へのフォローなどをしていただくために配置しています。これまでは公立園を中心に行っていましたが、小学校との連携ができていないということもあったため、民間園でも公立園と同じように小学校との連携ができないかということで今年度から民間園でも取り組んでいるところです。民間園の先生方からも小学校との連携をしてもらいたいという要望もあり、公立、民間関係なく小学校とのスムーズな連携ができる体制を整えなければならないということで、これまでも公立と民間で様々なことを他市に比べて先進的にやってきたこともあり、さらに協力しながら、また幼児教育アドバイザーのサポートも受けながら、小学校との連携を進めていきたいと考えています。</p>
事務局	<p>補足ですが、公立については、国・県からの情報が得られやすいこともあり、民間園についてはこちらから園長会等でお伝えするということをしています。また、学校からの情報についても同様に民間園にも情報提供をしております。公民両方で研修を進め、小学校へのスムーズなつながりができるようにしなければなりませんので、研修会を行っており、公民だけでなく、認可外にもお声がけしながら、質の向上に努めているところです。</p>
委員	<p>各部門いろいろな取り組みをされているとは思いますが、それをまとまった形で組織化できないかという希望があります。</p>
部会長	<p>そのことについて、また機会を設けて検討ということでよろしいでしょうか。就学前の子どもと小学校の接続ということで、保育者と小学校の先生との交流も深めていただくということで、子どもがスムーズに小学校にあがれるような配慮が大事ですので、幼児教育アドバイザーも入れておられるということですが、今後ご検討をいただければと思います。</p> <p>続きまして、次回会議について、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	<p>次回の会議につきましては、令和5年2月に第2回子ども・子育て・若者会議の開催を予定しております。今回協議していただいた高砂市子どもの生活に関するアンケート調査の結果と、高砂市子ども・子育て・若者支援プランの教育・保育・地域子ども子育て支援事業の量の見込みと確保方策の中間見直しの結果をご報告させていただく予定としております。詳細な日程については後日改めてご連絡させていただきますので、どうぞご参加よろしくお願いたします。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。以上をもちまして、令和4年度第1回子ども・子育て部会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。</p>
事務局	<p>部会長並びに委員のみなさま、本日はたくさんのご意見ありがとうございました。これにて閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>3 閉会</p>	